

学 生 生 活 (Ⅱ)

《学生生活充実のために》

学生生活充実のために

1. 悩みごとなどの相談

1. 1 学生相談室

1. 学生相談室とは

学生相談室は、学生のみなさんが充実した学生生活を送れるように支援するための場所です。専門の相談員(臨床心理士等)が個別相談に応じています。

相談内容は、学生生活全般、勉強、部活やサークル、人間関係、将来の進路、家庭の問題など、どんなことでもかまいません。なにか心配なことや不安なこと、悩んでいることがありましたら、ひとりで悩まずに学生相談室を訪れてください。

相談内容と相談する人のプライバシーは守られます。安心して来室してください。

学生のみなさんのカウンセリングのほか、教職員や学生のご家族の方からの学生に関する相談もお受けしています。

※ 学生相談室に関する詳細は、埼玉工業大学学生相談室規程を参照してください。

2. 学生相談室の利用方法

相談室は原則予約制です。相談員との個別面談形式でお話を聞かせていただきます。

予約方法

- (1) 大学ホームページ予約フォームからの予約
- (2) メール予約
- (3) 電話予約

申し込みの際は①氏名、②学部学科、③学年、④学籍番号、⑤希望する相談日程(日にち、時間)をお知らせください。予約フォーム、メール予約の場合は学生相談室から折り返し連絡が来てから予約完了となります。

相談する学生本人の同意があれば、友人や保証人の方が面談に同席することもできます。

なお、面談中は電話に出られないこともありますので、その際は電話をおかけ直しいただくか、メールにてご用件をお知らせください。

- 場 所 : 26号館6階 2662室・2666室(面談用のお部屋が2つあります)
- 開設時間 : 9:30~11:30 / 12:30~16:00(土日・祝日は閉室)
- 電話番号 : 048-585-6879(学生相談室直通)
- e-mail : soudanshitsu@sit.ac.jp

学生相談室のページには以下のQRコードからアクセスできます。

学生相談室のページ(大学ホームページ)



学生相談室 予約フォーム



1. 2 学生委員について(学生相談)

校内には学部・学科ごとに学生相談を担当する学生委員がいます。身近な生活の悩みやトラブル、苦情等も随時受け付けていますので、気軽に相談してください。

また、「外国人留学生」や「障害を持つ学生」についても親身になって相談に応じます。

相談をする場合は、研究室に向かうか、メールアドレスなどで相談内容などを書き込み、合わせて面談日などの確認をしてください。学務課を通じての相談も可能です。

●工学部の学生委員一覧

学科	学生委員氏名	TEL	メールアドレス / ()は研究室
機械工学科	安藤 大樹	048-585-6847	ando@sit.ac.jp (6号館2階)
生命環境化学科	田中 睦生	048-585-6836	mitsuo-tanaka@sit.ac.jp (1号館3階)
情報システム学科	村田 仁樹	048-585-6889	m.murata@sit.ac.jp (27号館4階)
基礎教育センター	松田 智裕	048-585-6867	matsuda@sit.ac.jp (26号館6階)

●人間社会学部の学生委員一覧

学科	学生委員氏名	TEL	メールアドレス / ()は研究室
情報社会学科	高橋 広治	048-585-6303	tkoji@sit.ac.jp (30号館3階)
心理学科	伊藤 淳子	048-585-6323	jito@sit.ac.jp (30号館4階)

1. 3 ハラスメントの防止と相談について

ハラスメントとは、目的はどうかであれ、他の人に不快感や屈辱感などの精神的苦痛、身体的苦痛、不利益を与える人権侵害行為を指します。

セクシャルハラスメント、パワーハラスメントはハラスメントの代表的なものであり、教育研究機関の場におけるハラスメントは、アカデミックハラスメントといわれています。ハラスメントを厳密な意味で区分することは難しく、複数の要素が重なってより深刻なハラスメントになってしまう可能性もあります。

本学では、ある言動がハラスメントに該当するかは言動を行った者の意図にかかわらず、原則として受け手の主観的判断を基準とします。

※ ハラスメント相談室に関する詳細は、埼玉工業大学学生ハラスメント相談室規程を参照してください。

ハラスメントにあった時やハラスメントではないかと感じた時には、ひとりで悩みを抱え込まずに学生ハラスメント相談室に相談してください。ハラスメント被害を受けた本人からだけでなく、第三者からの相談も受け付けています。

学生ハラスメント相談室について(原則予約制)

- 場 所 : 26号館6階 2662室・2666室
- 開設時間 : 9:30~11:30 / 12:30~16:00 (土日・祝日は閉室)
- e-mail : harasou@sit.ac.jp

予約方法

- (1) 大学ホームページ予約フォームからの予約
- (2) メール予約
- (3) 電話予約

予約フォーム、メール予約の場合は学生ハラスメント相談室から折り返しの連絡が来てから予約完了となります。

- ・ 予約の際は①氏名、②学部学科、③学年、④学籍番号、⑤希望する相談日程(日にち、時間)をお知らせください。
- ・ 相談する学生本人の同意があれば、友人や保証人等の方が面談に同席することもできます。
- ・ ハラスメント相談室では、相談に際しハラスメントの被害を受けた相談者のプライバシーを最大限保護し、秘密を厳守します。
- ・ ハラスメント相談員は、相談者の事情を聞き、相談者の立場に立って迅速に対応します。安心してお越しください。
- ・ ハラスメントに関する相談をしたことを理由に不利益な取り扱いをされることはありません。

学生ハラスメント相談室のページ
(大学ホームページ)



学生ハラスメント相談室
予約フォーム



1. 4 合理的配慮の申請について

短期間に回復しない心身の障害などにより授業や学生生活に何らかの困難がある学生が、大学生活を送るうえで必要な配慮を大学に申し出ることができます。

大学との協議を経て、合理的配慮を受けることができます。

1. 申請期間

随時受け付けます。ただし申請手続きに時間を要するため、授業開始1か月前までが望ましいです。

2. 申請の流れ

- (1) 本人もしくは保証人が学生相談室に申し出てください。
- (2) 本人（及び保証人）、学生相談室相談員（以下、相談員）で面談を実施します。相談員から手続き等の説明をし、病気・障害等の詳細、希望する配慮内容などについて伺います。もし障害者手帳や診断書、検査結果、これまでに受けた配慮のまとめなどがありましたらお持ちください。※既に相談したことがある場合など、省略することもあります。
- (3) 必要に応じて以下の書類を本人もしくは保証人が学務課へ提出してください。
 - ・配慮申請書(面談の際に書式をお渡しします)
 - ・障害者手帳、医師の診断書など、病気・疾患・障害等を客観的に証明できるもの
- (4) 本人（及び保証人）、学科長、学務課職員、相談員で面談を実施し、病気・障害等の詳細や必要な配慮の内容について話し合います。また、情報共有に関する同意書を提出していただきます。
- (5) 必要に応じて関係部署等と協議しながら、面談の内容をもとに相談員が配慮依頼書を作成します。
- (6) 本人（及び保証人）に配慮依頼書の内容を確認していただきます。その後、相談員が配慮依頼書を学科長、学務課長に提出します。
- (7) 配慮依頼書に基づき学科において対応を協議し、その結果が学科長から学務課長、相談員に共有されます。また、相談員から本人へ協議結果をお伝えします。必要があれば本人（及び保証人）と関係者での話し合いや学科での協議を再度行います。
- (8) 配慮・サポート内容を、別途、記入していただいた情報共有に関する同意書に基づいて、相談員から講義担当者、関係部署、関係者へ通知します。
- (9) その後もメールや面談を通じ、配慮内容の再検討・調整を必要に応じて行います。配慮内容を変更したい場合や、新たに病気・障害等が発生した、病気・障害等の状態が変わった等の場合は学生相談室までご連絡ください。

2. 学習支援センター

2. 1 学習支援センターとは

学習支援センターは、学生の主体的な学習活動を支援することを目的として、21号館(図書館棟)内に設置された施設です。数学・物理・化学・英語・日本語を中心に、基礎から応用まで幅広い学習相談に対応しています。

センターには、各科目を専門とするチューター（教員）およびティーチング・アシスタント（大学院生）が在室し、日々の学習に関する疑問や相談に応じています。必要に応じて各科目担当教員への連絡・相談を行うこともできます。担当教員の専門分野や在室曜日・時間を確認のうえ利用してください。

また、基礎科目の理解に不安がある学生を対象とした授業理解支援セミナーの開講、学習方法に関する助言など、個々のニーズに応じた支援も行っています。日本語科目も開設しており、日本語能力に不安のある留学生の利用も歓迎しています。語学面のみならず、大学での学修全般に関する相談にも対応しています。

センター内には、授業で使用する教科書をはじめ、辞書・参考書・問題集などを備えており、コピー機も設置しています。授業期間中は月曜日から金曜日の10時45分から18時45分まで開館しており、空き時間の自習場所としても利用できます。学習に関する不安や疑問がある場合は、積極的に活用してください。

開講科目、担当教員の在室スケジュール、開館時間等の詳細は、学習支援センターのホームページで確認してください。

学習支援センター
(大学ホームページ)



3. 健康相談

心身が健康であってこそ、学生生活を楽しむことができます。病に倒れてしまつては何もできません。身体的疾病を解決することにより、精神的な不安も解消されます。自己の健康管理のポイントは「早期発見」です。

3. 1 保健室の利用

授業中や課外活動中など学内での体調不良や、思わぬケガをしたときは、すぐに保健室(21号館[図書館]1階)または学務課へ申し出てください。

3. 2 定期健康診断

毎年、全学生を対象とした、定期健康診断を実施しています。新入生は4月のオリエンテーション期間内と3月下旬に、在生は3月下旬に実施しています。

定期健康診断は、学生の皆さんの健康維持、疾病の早期発見を目的として毎年実施していますので、必ず受診してください。

定期健康診断の検査項目は、以下のとおりです。

尿検査、身体計測(身長、体重)、血圧、視力、色覚、採血、胸部X線、内科診察

定期健康診断の実施日は、LiveCampusUにてお知らせいたします。

なお、定期健康診断を受診できなかった学生は、個々に医療機関で受診してください。検査項目については、学務課にお問い合わせください。

3. 3 定期健康診断結果の連絡

定期健康診断を受けた学生には、LiveCampusU(マイ info の学生情報内)で健康診断情報を公開します。受診した各項目の検査結果が一目でわかる内容となっています。なお、「総合判定」、「今回の総合コメント」において、検査を要するとの判定の場合は、医師の再検査を至急受け、その結果及び診断書を学務課に提出してください。

また、個々に医療機関で受診した場合、その診断結果はLiveCampusUには反映されません。

3. 4 健康診断証明書の発行

定期健康診断を受け、その結果、異常が認められなかった学生については、26号館1Fに設置されている証明書自動発行機で健康診断証明書を発行することができます。本証明書は、就職活動の際に必要な書類です。

手数料は1通300円です。ただし、進学または就職活動に使用する場合(学部は3年次、博士前期課程及び修士課程は1年次、博士後期課程は2年次の10月1日以降)は1通100円となります。

定期健康診断の結果、異常が認められた学生については、健康診断証明書を発行することはできません。証明書の発行を受けるためには、再検査を行う必要があります。

なお、個々に医療機関で受診した場合であっても、その結果に異常が認められない場合は、健康診断証明書を発行することができます。

3. 5 飲酒の恐ろしさ

1. 「イッキ飲み」の禁止

「イッキ、イッキ」の掛け声とともに大量のお酒を短時間で飲むイッキ飲みは、アルコール分解が追いつかず、血中アルコール濃度が急激に上昇する非常に危険な飲み方です。その結果、呼吸中枢などの中枢神経が麻痺(マヒ)し、急性アルコール中毒を起こしやすく、重症の場合は意識障害や呼吸麻痺により死亡することもあります。

飲酒を強要して死亡させた場合は「傷害致死罪」、意図がなくても死亡すれば「過失致死罪」、泥酔状態の相手を放置した場合は「保護責任者遺棄罪」、さらに死傷に至れば「遺棄致死傷罪」など、重大な法的責任を問われます。この問題は決して他人ごとではありません。

お酒は適量であれば楽しいものですが、誤った飲み方をすれば命に関わります。大学生だから大丈夫という考えは捨て、飲酒に対する認識を改める必要があります。

2. 飲酒の心得5ヶ条

- (1) 「イッキ」飲みは決してしない、させない
- (2) 飲めない人にはすすめない
- (3) 体調が悪い日、風邪薬や痛み止めなどの薬を飲んでいるときは、飲まない
- (4) 食べながら、ゆっくり飲む
- (5) 飲める人でも「ほろ酔い」段階で切り上げる

3. 「20歳未満の者の飲酒」の禁止

日本では「20歳未満の者の飲酒の禁止に関する法律」により、20歳未満の者の飲酒が禁じられています。その目的は成長過程にある若年者をアルコールの健康被害から守ることにあります。

一般に、成長期にある若年者は心身ともに発達の途中段階にあり、アルコールを分解する能力も成人と比べて十分ではありません。そのため、飲酒は脳細胞への悪影響や、性ホルモンを生成する臓器の機能低下などを引き起こすおそれがあり、健全な心身の発達を阻害する要因となります。

4. 「飲酒運転」の禁止

車の運転には機敏な反射能力や的確な判断力が必要ですが、飲酒によりこれらの能力は低下します。視力は著しく衰え、視野が狭くなるほか、反射運動能力や集中力も低下し、スピードの出すぎやブレーキの踏み遅れ、ハンドル・アクセル操作の乱れを招きます。

酒気帯び運転や酒酔い運転は、本人だけでなく関係のない他人を巻き込む重大事故につながる危険な行為です。そのため道路交通法では、飲酒運転を禁止しています。一口でも飲んだら運転しない、運転するなら一口も飲まないという強い意志を持ちましょう。

- 詳細は、以下の「(公社)アルコール健康医学協会」のホームページを確認してください。

<http://www.arukenkyo.or.jp/>

3. 6 禁煙運動について

タバコはなぜよくないか(百害あって一利なし)

タバコの害で代表的なのは肺がんです。喫煙者の肺がん死亡率は吸わない人の実に4倍以上。また喫煙は動脈硬化を促進したり、ビタミンCが大量に消費されて感染症にかかりやすくなります。さらに怖いのは間接喫煙。タバコの害は主流煙(本人が吸ったタバコの煙)よりも副流煙(間接喫煙:他人が吸ったタバコの煙)のほうが強いので、家族や周囲の人にも大きなリスクを与えてしまいます。このようなことから本学も学生諸君の健康を守るため、また、快適な空間を維持するため禁煙運動を推進しています。

3. 7 大麻・危険ドラッグなどの薬物の乱用防止について

昨今、「大学生による大麻等の違法薬物の所持・乱用」や、「危険ドラッグの使用によって引き起こされる事件・事故」が大きな社会問題となっています。大麻をはじめとする違法薬物や危険ドラッグは、使用だけでなく、所持・栽培・製造・売買なども法律により厳しく処罰されます。

違法薬物の使用は、心身の健康を著しく損ない、悲惨な学生生活につながるおそれがあります。学生の皆さんは、その危険性を十分に理解し、本学の学生として責任ある自覚と良識ある行動をとるよう強く求めます。

- 詳細は、以下の「厚生労働省薬物乱用防止」のホームページを確認してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/

3. 8 ギャンブル依存症について

ギャンブル依存症は、パチンコや競馬、オンラインカジノなどのギャンブルを自分の意思でやめられなくなり、学業や生活、経済面、人間関係に深刻な支障をきたす病気です。意志の弱さではなく、脳の働きに影響する依存症の一つとされています。

依存が進むと、借金や学業不振、対人関係の悪化など、将来に大きな影響を及ぼします。スマートフォンやインターネットの普及により、学生が気軽にギャンブルに接する環境が広がり、若年層の問題としても注意が必要です。

これは誰にでも起こり得る問題です。気になることがあれば、一人で抱え込まず、早めに専門の窓口にご相談してください。

- 詳細は、以下の「(公社)ギャンブル依存症問題を考える会」のホームページを確認してください。

<https://www.scga.jp/>

3. 9 エイズに関する基礎知識

エイズ(AIDS)は「後天性免疫不全症候群」のことで、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによって、体の免疫機能が低下し、さまざまな病気にかかりやすくなる病気です。治療法は進歩していますが、現在も完治が難しく、誰にでも感染の可能性があります。

感染経路は、性行為・血液・母子感染の3つで、近年は性行為による感染が増加しています。正しい予防を行わなければ、誰でもHIVに感染する危険性があります。日常生活(握手、入浴、食事、プールなど)で感染することはありません。HIVに汚染された血液や体液が粘膜に直接触れることを防ぐことが重要であり、性行為感染を防ぐ最も確実な方法はコンドームの正しい使用です。

感染の不安がある場合は、ためらわず検査を受けてください。目安として、最後の心当たりから12週間以降の検査が推奨されます。

- 詳細は、以下の「(公財)エイズ予防財団」のホームページを確認してください。

<https://www.jfap.or.jp/>

3. 10 若年女性に急増中の子宮頸がんについて

近年、子宮頸がんは20歳代の若年層で、急激に増えています。子宮頸がんの原因は、「ヒト・パピローマウイルス(HPV: Human Papilloma virus)」の感染が関連しているとされており、HPVは性交経験があれば誰にでも感染しうる、ごくありふれたウイルスで、女性の約8割が50歳までに感染を経験すると言われていました。検診により、HPV感染から“がん化”する前の異形成という状態

を発見することが可能で、初期に発見できれば子宮頸部の一部を切除する手術で治療することができ、治療後の妊娠・出産も可能です。手遅れとなる前に、定期的な検診を受けましょう。

- 詳細は、以下のホームページを確認してください。

国立がん研究センターがん対策研究所

<https://www.ncc.go.jp/jp/cis/>

特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会

<https://love49.org/>

子宮頸がん予防情報サイト

<https://www.shikyukeigan-yobo.jp/>

3. 1 1 大学周辺の主な医療機関

思いがけない病気やケガの時のために、本学周辺の医療機関の一部を紹介します。

【深谷地区】

佐々木病院	(内、外、整、形成、脳外、循、皮、リハ)	深谷市西島 2-16-1 048-571-0242
桜ヶ丘病院	(内、消、婦、循、小)	深谷市国済寺 408-5 048-571-1171
益岡医院	(内、外、整、消、循)	深谷市岡部 1249-10 048-585-5657
なすはらクリニック	(総合診療・内)	深谷市岡 2757-3 048-577-7028
上柴クリニック	(内、外、消、循、放)	深谷市上野台 2321-2 048-574-7770
はしもとクリニック	(内、外、消、血内)	深谷市西島町 2-2-2 048-551-8410
ふかやクリニック	(内、整、リハ、リウ、心内、精、消、小)	深谷市宿根 245-1 048-574-0022
あだち医院	(内、消、外、リハ)	深谷市上柴町東 5-15-14 048-551-0222
清水内科クリニック	(内、消、循、リハ)	深谷市人見 445-1 048-573-1197
白倉医院	(内、消、小)	深谷市稲荷町 3-3-1 048-571-0169
四元医院	(内、外)	深谷市上柴町西 1-4-1 048-573-5200
今井医院	(内)	深谷市寿町 52 048-572-7728
安達皮膚科医院	(皮)	深谷市上柴町西 4-4-19 048-571-2301
石川医院	(耳)	深谷市西島 3-17-65 048-571-0038
正田眼科	(眼)	深谷市稲荷町 1-2-15 048-571-1198
ふかや眼科	(眼)	深谷市西島町 3-14-8 048-572-3910
高橋眼科医院	(眼)	深谷市柴町 1-47 048-571-0318
橋本歯科医院	(歯)	深谷市山河 1234-2 048-585-1101

【深谷地区】

新井歯科医院	(歯)	深谷市上柴町東 5-14-12 0120-860-441
大濱歯科医院	(歯)	深谷市東方町 3-19-14 048-573-8266
太宰歯科クリニック	(歯)	深谷市上野台 2904-14 048-573-7800

【本庄地区】

本庄総合病院	(内、小、外、整、脳外、眼、耳、皮、泌)	本庄市北堀 1780 0495-22-6111
本庄駅前病院	(内、外、整、形、消、肛、リハ、皮)	本庄市駅南 1-2-32 0495-22-2163
田所医院	(内、外、循、放、呼、消、整)	本庄市けや木 1-8-2 0495-22-3445
岡病院	(内、消、循、泌)	本庄市北堀 810 0495-24-8821
上武病院	(内、精、歯)	本庄市小島 5-6-1 0495-21-0111
松本産婦人科医院	(婦、産、女性内科)	本庄市千代田 1-1-26 0495-24-3377
服部クリニック	(眼、耳)	本庄市東台 4-1-22 0495-24-4671
春山眼科医院	(眼)	本庄市けや木 1-5-5 0495-21-2160
中央歯科医院	(歯、矯正)	本庄市駅南 2-15-3 0495-21-1807

【熊谷地区】

熊谷総合病院	(内、外、胃、産、耳、小、眼、整、皮、泌、脳、リハ、放)	熊谷市中西 4-5-1 048-521-0065
藤間病院	(内、外、消、循、整、泌、産、整)	熊谷市末広 2-137 048-522-0600
ティアラ 21 女性クリニック	(婦人科内科・女性の心と身体の悩み相談ほか)	熊谷市筑波 3-202 5F 048-527-1122
はぎわら眼科	(眼)	熊谷市玉井 1744-1 048-533-1177

4. 奨学金制度

奨学金制度は、教育の機会均等の精神に基づき、独立行政法人日本学生支援機構をはじめとする各種の団体により設けられています。

これらの制度は、学業成績・人物ともに優秀であって経済的に援助を必要としている学生に対して奨学金を貸与または給付するものです。奨学金関係の事務は、学務課で扱っています。

奨学金制度により、出願資格・貸与または給付の期間・金額・申請に必要な書類が異なります。

奨学金関係の説明会や募集案内に関する連絡は、すべて LiveCampusU にて案内しますので、見落とすことのないよう十分注意してください。

4. 1 学校法人智香寺学園特別奨学金制度(給付)

1. 目的 学部学生で学業・人物ともに優秀なものに、奨学金を授与し、これを奨励する。
2. 資格 2年生以上で、前年次の成績が優秀かつ健全な学生と認められた者。
3. 給付額 10万円
4. 採用決定 各学科の学科長が推薦し、理事会審査を経て、毎年度始めに決定する。

4. 2 埼玉工業大学後援会奨学金制度(給付)

1. 目的 埼玉工業大学後援会の趣旨に基づき、学生の学業成就と成績向上を助成する。
2. 資格 2年生以上で、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により学業の継続困難と認められる者。ただし、他の学内外諸団体の奨学金を受給していない者に限る。
3. 給付額 10万円
4. 採用選考 希望者の申請に基づき、学生委員会が選考する。
5. 採用者数 25名程度
6. 募集時期 毎年6月

4. 3 埼玉工業大学後援会留学生奨学金制度(給付)

1. 目的 埼玉工業大学後援会の趣旨に基づき、留学生の学業成就と成績向上を助成する。
2. 資格 2年生以上の在留資格[留学]を有する私費留学生で、学業・人物ともに優秀な者。ただし、他の学内外諸団体の奨学金を受給していない者に限る。
3. 給付額 10万円
4. 採用選考 希望者の申請に基づき、学生委員会が選考する。
5. 採用者数 若干名
6. 募集時期 毎年6月

4. 4 浄土宗 宗立・宗門校奨学金制度(給付)

1. 資格 4年生で、志操堅固かつ学術優秀なる者。
2. 給付額 10万円
3. 採用者 4年生から5名(各学科1名)
4. 採用選考 学科長の推薦

4. 5 日本学生支援機構奨学金

1. 給付奨学金・授業料等減免（高等教育の修学支援新制度）

高等教育の修学支援新制度は、住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生を対象として、以下の2つの支援を受けることができます。

■ 給付奨学金(原則返還不要な奨学金)

■ 授業料等の減免(授業料の減額と入学金の免除)

※ この新制度による支援を受けるためには、日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、採用されることが必要です。

【支援内容】 所得に応じて、採用の区分は4段階に分かれます。

所得の区分 (年収目安)	支援区分	給付奨学金(月額)		本学での授業料等減免額	
		自宅通学	自宅外通学	入学金(1回)	授業料(年額)
～270万円	第Ⅰ区分 1子・2子世帯	38,300円 (42,500円)	75,800円	220,000円	700,000円
	第Ⅰ区分 多子世帯	38,300円 (42,500円)	75,800円	220,000円	700,000円
270万円～ 300万円	第Ⅱ区分 1子・2子世帯	25,600円 (28,400円)	50,600円	146,700円	466,700円
	第Ⅱ区分 多子世帯	25,600円 (28,400円)	50,600円	220,000円	700,000円
300万円～ 380万円	第Ⅲ区分 1子・2子世帯	12,800円 (14,200円)	25,300円	73,400円	233,400円
	第Ⅲ区分 多子世帯	12,800円 (14,200円)	25,300円	220,000円	700,000円
～600万円	第Ⅳ区分 (理工農系)	—	—	73,400円	233,400円
	第Ⅳ区分 多子世帯	9,600円	19,000円	220,000円	700,000円
600万円～	多子世帯	—	—	220,000円	700,000円

※カッコ内金額は、生活保護を受けている生計維持者と同居している人および児童養護施設から通学する方が対象

※私立理工農系支援は、給付奨学金はありません(授業料・入学金のみ対象)

2. 貸与奨学金

日本学生支援機構の奨学金は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。貸与奨学金には、「第一種奨学金」(無利子)と、「第二種奨学金」(有利子)があります。このほかに、入学時の一時金として「入学時特別増額貸与奨学金」(有利子)があります。

【貸与月額】

	第一種奨学金	第二種奨学金
自宅通学者の場合	2万円・3万円・4万円・5.4万円 〔学生が選択〕	2万円～12万円までの間で1万円単位で額を選択 〔学生が選択〕
自宅外通学者の場合	2万円・3万円・4万円・5万円・6.4万円 〔学生が選択〕	

【入学時特別増額貸与奨学金】

(1) 入学時特別増額貸与の対象者は、4月を始期として奨学金の貸与を受ける者で、初回の月額に増額して貸与を希望するものです。

(2) 申込みは、所得が少ないために日本政策金融公庫の教育ローンが利用できなかった世帯(当該融資に係る世帯収入の上限を超えるものを除く)、または申込み時の家計基準における認定所得が0(ゼロ)評価となる者の子弟に限られます。

- (3) 貸与額は、10・20・30・40・50 万円から選択できます。
- (4) 奨学金の第 1 回目の振込時に全額が上乘せされます。
- (5) 入学時特別増額貸与奨学金だけを借りることはできません。

3. 募集時期

年に 2 回、4 月中旬と 9 月に新規申し込みの募集を行います。

募集及び継続手続きの連絡については、LiveCampusU にて案内します。

また、説明会には必ず出席してください。

※ 入学前の予約採用に申し込まなかった場合、この募集で申請が可能です。

家計支持者の失職・急死または火災や災害(台風・地震)等により、家計が急変し、緊急に奨学金の貸与が必要となった場合は、定期以外の採用(応急・緊急)があります。学務課に相談してください。

- 詳細は、以下の「日本学生支援機構」のホームページを確認してください。
<https://www.jasso.go.jp>

4. 6 留学生関係の奨学金制度

「留学生受入れ促進プログラム(文部科学省外国人留学生学習奨励費)」、「公益財団法人ロータリー米山記念奨学金」、「公益財団法人平和中島財団奨学金」等に実績があります。

詳しい内容については、募集の依頼があり次第、その都度 LiveCampusU にて案内します。

不明な点については、学務課に問い合わせてください。

4. 7 その他の奨学金制度

都道府県教育委員会、地方公共団体、その他民間団体等の奨学金制度がありますので、募集の依頼があり次第、LiveCampusU にて案内します。

4. 8 提携教育ローン

1. オリエントコーポレーション学費サポートプラン(学費分納制度)

本学と提携する(株)オリエントコーポレーションの学費サポートプランの利用者に対し、学生の在学期間における利子相当額について、奨学金として支給いたします。

「学費サポートプラン」は、入学金や授業料などの納付金を、Web または郵送で申込手続きができる学費の分割納付制度です(来店や所得証明書は不要です)。

- ① 申込先 (株)オリエントコーポレーション
資料請求先：学費サポートデスク
電話番号：0120-517-325 (平日 9 : 30～17 : 30)
※ 大学のホームページより申込みが可能です。
- ② 利用対象者 本学に入学または在学する学生の保証人
※ 審査結果により、このプランを利用できない場合があります。
- ③ 対象費用 入学金・授業料・諸会費等の学校納付金
- ④ 利用可能額 納付書記載金額(利用累計 500 万円まで)
利用金額は、(株)オリエントコーポレーションから埼玉工業大学へ直接振り込まれます。
申込に必要なものは、新入学生の場合「合格通知の写し」、「納付書の写し」、在学学生の場合「学生証写し」、「納付書の写し」などです。
- ⑤ 返済方法 「通常分納」、「ステップアップ分納(在学期間中利払)」のどちらかを選択します。利率は、固定金利 年率 3.8%(令和 6 年 12 月 1 日現在)
- ⑥ 利子補給 利子補給期間は在学中に限り、給付は埼玉工業大学より奨学金として、保証人の銀行口座に振り込みいたします。なお、利子補給の利率の上限は年率 5% となります。また、本プラン以外の教育ローンは、利子補給の対象となりません。
- ⑦ 問合せ先 埼玉工業大学財務課
電話番号：048-585-6810 (平日 9 : 00～17 : 30)

2. 群馬銀行教育ローン

本学と提携する(株)群馬銀行の教育ローンで、金利の優遇があります。詳しくは、(株)群馬銀行のホームページ(<https://www.gunmabank.co.jp/teikei/kyoiku/>)で学校コード(ID):92910を入力するか、学費の納入書に同封してあるパンフレットをご参照ください。ただし、この提携教育ローンは利子補給制度の対象とはなりません。

4. 9 国の教育ローン(日本政策金融公庫)

「国の教育ローン」は、ご家庭の教育費の負担を軽減し、お子さまの進学・在学を応援するために設けられています。

今後1年間に必要となる費用がご融資の対象となります。授業料のほか、自宅外通学の場合の住居費用などにも使うことができます。

- 詳細は、以下の「日本政策金融公庫(国の教育ローン)」のホームページを確認してください。
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

5. 生活相談

学生生活を送るうえでの相談を、学務課にて対応しています。

5. 1 アパートの紹介

自宅から通学できない学生のために、アパートの情報を案内しています。詳細は学務課にて確認してください。

1. 住まいを借りるときの心構え

- (1) トラブルを避けるために契約内容(敷金・礼金・家賃・駐車場・その他の費用・契約期間等)をよく確認してから契約してください。
また、近隣の生活環境等を確認し、必ず物件の下見をしてください。
下見をする場合、家主さんや不動産会社に日程を連絡してから訪ねてください。
- (2) 「家主さんとの直接契約の物件」と「不動産会社の物件」と2種類あります。
「家主さんとの直接契約の物件」は、大学近隣の家主さんからの物件で、大学から安価な家賃の設定を依頼しています。「不動産会社の物件」は、近隣の不動産会社の情報を記載しています。契約内容はそれぞれ異なるので、十分注意してください。
- (3) 部屋の条件に納得できたら、賃貸契約をしてください。
- (4) 契約後に不都合が生じた場合は、学務課に相談してください。
- (5) 入居後、騒音などには十分な配慮をしてください。
- (6) 自治体によりゴミ処理等の決まりごとが違います。契約時に家主さん、不動産会社から情報を集め、近隣に迷惑をかけないよう心掛けてください。
- (7) あらゆるトラブルには誠心誠意あたり、それでも解決できない場合は、学務課に相談してください。

部屋が決まり、引っ越しを終えたら、いよいよ新生活が始まります。一人暮らしは自立への第一歩。お金もしっかり管理しなければなりません。予算内で生活できるよう金銭を管理することが大切です。「収支のバランス」を常に心がけて生活しましょう。

5. 2 アルバイトの紹介

アルバイトは、学業を優先に考え、無理のない自分にあったものを選ぶことが必要です。深夜におよぶアルバイトに就き、授業を犠牲にして退学する学生も見受けられます。健康を害さないよう、学生各自が慎重に選んでください。

26号館1階掲示板のアルバイト求人票を見て自分に適したものがあつた場合は、直接求人先に連絡してください。また、アルバイトを始める前に労働条件などをよく確認し契約してください。

なお、不安や疑問がある場合は、遠慮なく学務課に相談してください。

5. 3 国民年金の加入

満 20 歳になると国民年金への加入が義務づけられています。これまでに、国民年金に加入していなかったために、在学中に事故や病気で障害の状態になっても、障害基礎年金が受けられなかったという事例もあります。20 歳になったら必ず国民年金の加入手続きを行ってください。

1. 国民年金の学生納付特例制度について

本学で学生納付特例の申請手続きができます。

学生納付特例とは、所得が少なく保険料を納めることが困難な 20 歳以上の学生が、将来、年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金が受け取ることができなくなることを防止するため、本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。大学の申請手続窓口は、学務課です。

● 詳細は、以下の「日本年金機構」のホームページを確認してください。

<https://www.nenkin.go.jp/>

2. 国民年金は、こんなリスクに対応

(1) 障害基礎年金

国民年金の被保険者が障害を負った場合、一定の条件を満たしていれば障害基礎年金が受給できる。障害の程度による定額制。

(2) 老齢基礎年金

原則として 65 歳から受け取ることができる。受け取るためには、国民年金の納付期間や免除期間およびカラ期間(合算対象期間)と厚生年金に加入していた期間を合算し、10 年以上の期間が必要。国民年金保険料を納めた期間や免除を受けた期間によって受け取る年金額は異なる。

(3) 遺族基礎年金

国民年金に加入中の人や国民年金の保険料を払い終わった 60 歳以上 65 歳未満の国内に住んでいる人が亡くなった場合に、18 歳未満の子をもつ妻や、両親のいない 18 歳未満の子などに支給される。老齢基礎年金をすでに受給していた人や、受給資格の要件を満たす人が亡くなった場合にも支給される。ただし、死亡した人について保険料納付済期間(保険料免除期間を含む)が加入期間の 3 分の 2 以上あること。

5. 4 闇バイト【甘い言葉の裏に潜む重大な犯罪】

1. 闇バイトとは

「高額報酬」「簡単」「即日入金」などの言葉で勧誘し、SNS 等を通じて応募させ、詐欺や強盗などの犯罪行為に関与させるものです。

2. よくある勧誘手口

SNS の DM や掲示板を利用し、仕事内容を明示しないまま個人情報を提出させるケースが多く見られます。

3. 一度関わると起こること

個人情報を握られ、脅迫や強要により抜け出せなくなることがあります。指示された行為であっても、犯罪に関与すれば処罰の対象となります。

4. 被害・関与を防ぐために

不審な募集には決して応募せず、違和感を覚えた時点で関係を断つことが重要です。

5. 困ったときの相談先

不安を感じた場合や関与してしまった可能性がある場合は、速やかに学務課や警察、相談機関に相談してください。

5. 5 悪徳商法【こんな手口が君を狙っている】

1. 訪問・通信販売等への注意

近年、社会問題となっている「悪徳商法」の被害が学生にも及んでいます。訪問販売、街頭アンケート、通信販売、インターネット通販などをきっかけに契約を結び、トラブルに巻き込まれる学生が後を絶ちません。

以下に代表的な手口を紹介します。安易な気持ちで契約を結ばないよう十分注意してください。

＜悪徳商法の実例＞

- (1) キャッチ・セールス
街頭で声を掛け、長時間説得した後、化粧品や健康食品などの高額な契約を結ばせるもの。
 - (2) アポイント商法
「当選した」などと連絡して呼び出し、実益のない特典を説明し、商品を売りつけるもの。
 - (3) 資格取得商法
官庁認可や大学公認を装い、実態の不明確な講習会や資格を通信教育等で販売するもの。
 - (4) マルチ(まがい)商法
ネズミ講と商品販売を組み合わせた方法で、会員数を拡大することで利益を得るもの。
(例) 自動車部品、化粧品、洗剤、教材の販売等
 - (5) かたり商法
消防署や保健所などの公的機関職員を装い、消火器等を売りつけるもの。
 - (6) ネガティブ・オプション商法
注文していない商品を一方的に送りつけ、代金を請求する手口です。代金を支払う義務や返送する義務はありませんが、商品は14日間(引き取り請求した場合は7日間)保管する必要があります。その後の処分は自由です。注文していない商品は受け取りを拒否しましょう。
 - (7) インターネット通販トラブル
インターネットで商品を注文し、料金を支払ったにもかかわらず、商品が届かないケースがあります。所在地や連絡先の記載に不備のあるショップとの取引は行わないでください。
2. クーリング・オフ(Cooling off)
クーリング・オフとは、訪問販売や電話勧誘販売などにより契約した場合、一定期間内であれば無条件で契約を撤回・解除できる制度です。期間は契約日から8日以内、マルチ・現物まがい商法は14日以内です。期間内に書面(可能であれば内容証明郵便)で業者へ通知しなければなりません。クレジット契約の場合は、クレジット会社にも同様の通知が必要です。
なお、通信販売(郵便・電話・FAX等)は対象外となるため注意してください。
3. 困ったときの相談先は？
- (1) トラブルに巻き込まれたら、直ちに学務課(学生関係)〔TEL 048-585-6812〕へ連絡してください。
 - (2) (一財)日本消費者協会消費者相談室 TEL 03-5282-5319
<https://jca-home.jp/sodan/>
 - (3) 埼玉県消費生活支援センター熊谷 TEL 048-524-0999
<http://www.kokusen.go.jp/map/11/center0039.html>
 - (4) 最寄りの消費生活センター
4. 悪徳商法から身を守る7ヶ条
- (1) あいまいな返事をせず、きっぱり断る。
 - (2) 「無料」「あなただけ」「必ず儲かる」という言葉を疑う。
 - (3) 不審な電話、メール、サイトには関わらない。
 - (4) 本当に必要な商品か冷静に判断する。
 - (5) 契約書は必ず確認し、慎重に契約する。
 - (6) 分割金額だけで判断せず、総額を見る。
 - (7) 一人で悩まず、家族や大学窓口(学務課)に相談する。

6. 厚生施設

6. 1 温水プール施設「パティオ」について

深谷市の「アクアパラダイス・パティオ」は、年間を通じて利用することができる全天候型ウォーター・パークです。(住所：埼玉県深谷市榎合 763、TEL：048-574-5000)

本学の学生が「アクアパラダイス・パティオ」を利用する場合は、パティオの受付に学生証を提示し、利用料金800円(市民割引額)の半額を支払い、受付台帳に学籍番号を記入してください。

- 詳細は、以下の「アクアパラダイス・パティオ」のホームページを確認してください。

<https://patio.or.jp/>

7. オフィス・アワー(相談時間) について

本学では、修学に関するあらゆる相談や指導に対応するためにオフィス・アワーを設けています。相談日や時間はそれぞれの先生や学科により異なりますので、下記の時間を参考に積極的に活用してください。加えて、対面でのミーティングに抵抗のある方のために、Zoom にてオンライン・オフィス・アワーも提供しています。

相談には、事前に予約が必要な場合がありますので、注意してください。

予約が必要となるオンライン・オフィス・アワーの場合は、個別にE-mail で連絡して下さい。

<機械工学科>

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
皆川 佳祐	通年	月	12:45 ~ 13:20	624B	要予約	mina@sit.ac.jp
萩原 隆明	通年	月	17:00 ~ 18:00	625B	要予約	t-hagiwara@sit.ac.jp
安藤 大樹	通年	火	12:40 ~ 13:15	621A	要予約	ando@sit.ac.jp
上月 陽一	通年	火	9:10 ~ 10:40	626B	不要	kohzuki@sit.ac.jp
高坂 祐顕	通年	月	16:50 ~ 18:30	627A	不要	kosaka@sit.ac.jp
福島 祥夫	通年	月	16:30 ~ 17:30	2758	不要	fuku-shio@sit.ac.jp
河田 直樹	通年	木	12:40 ~ 13:15	626A	要予約	kawada@sit.ac.jp
福地 亜宝郎	通年	水	12:40 ~ 13:10	628B	要予約	apollo-fukuchi@sit.ac.jp
長井 力	通年	水	17:00 以降	627B	不要	nagai@sit.ac.jp
岡田 和也	通年	月・火	16:50 ~ 18:30	2753	要予約	kokada@sit.ac.jp
政木 清孝	通年	月	17:00 ~ 18:00 (事前 連絡にて日時調整可)	628A	要予約	masaki-k@sit.ac.jp

<生命環境化学科>

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
岩崎 政和	前期 後期	火・水 火・木	12:40～13:25 (および 講義等時間外は随時)	213	要予約	iwasaki@sit.ac.jp
石川 正英	前期 後期	水・金 火・金	12:40～13:25	225	要予約	ishikawa@sit.ac.jp
長谷部 靖	通年	木・金	12:40～13:25	222	要予約	hasebe@sit.ac.jp
有谷 博文	通年	火～金	12:40～13:25 (および 講義等時間外は随時)	134	不要	aritani@sit.ac.jp
木下 基	通年	火	12:40～13:25	141	要予約	mkinoshita@sit.ac.jp
松浦 宏昭	通年	火 木	12:40～13:25	144	要予約	matsuura@sit.ac.jp
秋田 祐介	前期 後期	木 水	13:00～16:00	2731	要予約	akita@sit.ac.jp
秦田 勇二	前期 後期	金 木	13:00～16:00 13:00～16:00	2735	要予約	hatada@sit.ac.jp
本郷 照久	通年	水	12:40～13:25	214	要予約	hongo@sit.ac.jp
田中 睦生	通年	月～金	昼休み時間 (および講 義等時間外は随時)	131	要予約	mutsuo-tanaka@sit.ac.jp

<情報システム学科> ※なるべくメールで予約して下さい

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
渡部 大志	通年	月	16:30~17:00	2243	※	dw@sit.ac.jp
吉澤 浩和	通年	金	12:40~13:15	1943	※	yoshiz_h@sit.ac.jp
松井 章典	前期 後期	火木 木	12:40~13:15	2755	※	matsui@sit.ac.jp
鯨井 政祐	通年	火	9:10~10:50	2242	※	kujipon@sit.ac.jp
井上 聡	前期 後期	水木 火木金	12:20~13:10	2237	※	inoue@sit.ac.jp
橋本 智己	通年	月	12:45~13:15	2756	※	tomomi@sit.ac.jp
伊丹 史緒	通年	金	15:00~16:00	1935	※	itami@sit.ac.jp
前田 太陽	通年	金	17:00~18:30	2246	※	maedat@sit.ac.jp
村田 仁樹	通年	火 木	13:00~14:30	2743	※	m.murata@sit.ac.jp
藤田 和広	前期 後期	火 水	12:45~13:15 15:30~16:30	1936	※	kfujita@sit.ac.jp
中村 晃	前期 後期	火 水	15:30~16:30 15:30~16:30	2746	※	akira-nakamura@sit.ac.jp
古川 靖	通年	金	12:40~13:10	1914	※	furukawa@sit.ac.jp
桑木 道子	通年	火	12:30~13:15	1941	※	m.kuwaki@sit.ac.jp
館山 武史	通年	水	17:00~18:30	1921	※	tateyama@sit.ac.jp
神田 直大	通年	火	12:30~13:20	2241	※	kanda.naohiro@sit.ac.jp
土田 光	通年	木	12:40~13:20	1944	※	h_tsuchida@sit.ac.jp
田中 克明	通年	木	11:00~12:30	2236	※	katsuaki@sit.ac.jp

<基礎教育センター>

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
山路 雅也	通年	火	12:35～12:55	2656	不要	yamaji@sit.ac.jp
松田 智裕	通年	水	15:05～16:00	2663	要予約	matsuda@sit.ac.jp
高橋 優	通年	月	13:25～14:15	2671	要予約	masaru@sit.ac.jp
坂梨 健史郎	通年	金	15:30～16:00	2657	不要	sakanasi@sit.ac.jp
高橋 俊典	通年	火	11:00～11:50	2667	不要	ttoshi@sit.ac.jp
清水 雅己	通年	月	13:25～14:15	2673	要予約	m_shimizu@sit.ac.jp

8. 個別指導(個別面談と補習授業)について

工学部では、GPA 1.0 未満相当の成績不振学生および留年生に対して個別指導を行います。該当学生には担当教員が各学期のガイダンス時に個別面談を行うとともに、必要に応じて補習授業の受講を指導します。補習授業の実施方法および内容は下記のとおりです。不明な点は各学科・基礎教育センターの教務委員に確認してください。

<機械工学科>

数学・物理・英語に関しては、基礎教育センターと調整の上、別途掲示するので26号館前学生掲示板および6号館機械工学科棟内掲示板を確認のこと。学習支援センターのセミナーを活用する場合があります。専門科目は必要に応じ、機械工学科教員が実施するので、6号館機械工学科棟内掲示板を確認のこと。

<生命環境化学科>

生命環境化学科では、専門科目の学修の前提となる基礎科目に関する学力の向上を目的として、学習支援センターで開講されている英語・化学・生物・数学等のセミナーを補習授業として活用します。これまでに十分習得できなかった基礎科目の習熟を目指すとともに、専門科目の理解ならびに大学の講義を学ぶ意欲をより高めるための手助けとして、学習支援センターの学習相談も積極的に活用して下さい。なお、詳細については、学習支援センターのホームページを確認して下さい。

<情報システム学科>

期末試験の成績が著しくおもしろくない学生には、補習によりフォローアップの機会を設けます。掲示または連絡等により呼び出しを受けた場合、指示に従ってください。

<基礎教育センター>

学科の求めに応じて補習を実施する。なお、基礎教育センターで独自に補習を設定することがある。

教員名	期間	曜日	相談時間	室番
山路 雅也	通年	火	12:55-13:20	2656
松田 智裕	通年	水	16:00-16:30	2663
高橋 優	通年	月	14:15-15:05	2671
坂梨 健史郎	通年	金	16:00-16:30	2657
高橋 俊典	通年	火	11:50-12:40	2667
清水 雅己	通年	月	14:15-15:05	2673